



しいたけに振動を与えると

校長 長友 慎吾

昨年の5月に、しいたけを育てる過程で、細かい振動を与え続けると、成長が促進されるという研究結果を「森林総合研究所 東北支所などの研究チーム」が発表しました。

しいたけ栽培は、原木や、おがくずに栄養剤などを混ぜて固めた「菌床」に、しいたけの菌を植え付けて成長させていきます。培養皿に菌を入れて、「1秒間に1000回の振動を与え続けて、13秒間、止める」という実験を11日間、実施したところ、菌糸の面積が36%、大きくなったそうです。

さらに振動を与えることで、害虫の成長が妨げられたこともわかっています。ただ、「なぜ振動を与えると、しいたけが成長するのか」ということまでは、わかっていませんが、長い間、「なぜだろう」という思いで研究に取り組んできたからこそ、新たな発見があったのだと思います。

先日、各教室での子供たちの様子を見ていた時のことです。あるクラスでは、「自分の考えを書く」という国語の学習が行われていました。考える時間は十分に確保されており、一生懸命に考えている子、自分の考えをノートに書いている子、教科書を再度、読む子など、一人一人の子供が各自、課題に向き合っていました。ある子は、自分の考えを書き終え、時間があることを確認した後に、自学自習用のノートを出して、教科書の後半ページに記載されている漢字を書き写し、漢字を覚えるために、自分なりにまとめていました。私はその子の「学ぶ意欲」に感動しました。

私が見た、ある子の学びに向かう姿勢は、しいたけの研究と同じように、「コツコツ取り組むことが大きな発見につながる」ことを再認識させられた瞬間でした。「学ぶ楽しさ」を味わっている姿を見て、私はとてもうれしい気持ちになりました。